



美浜中学校 男子舵手付きクオドルプルで優勝 全国大会 2 連覇

第44回全日本中学選手権競漕大会 優勝報告会

■ お問い合わせ先
町教育総務課
ローイングの町美浜推進室
(担当・川畑) ☎32-6709



↑ 報告に訪れた美浜中学校ボート部の選手たち

8 月6日に、町役場で第44回全日本中学選手権競漕大会の優勝報告会が行われました。

同大会は、7月26日から28日にかけて、岐阜県川辺町の川辺漕艇場で開催され、男子舵手付きクオドルプルが優勝、男子ダブルスカルで4位、女子ダブルスカルで5位入賞を取めました。

報告会で、男子舵手付きクオドルプルに出場した志賀奎太さんは「猛暑の中でのレースとなったため、ペース配分が大変でした。決勝戦では、みんなで思いを一つにして全力で漕ぐことができ、優勝することができて嬉しかったです。」と語っていました。(関連第25頁)

◎大会結果(敬称略)

◎男子舵手付きクオドルプル

【和多田海史、志賀奎太、大同章成、木谷郁斗、満田真毅】

順位	クルー名	1,000m
1 位	美浜中学校	3:16:50
2 位	潮来選抜 A	3:21:27
3 位	津幡南中学校 A	3:24:17
4 位	入野中学校 A	3:26:15
5 位	瀬田中学校 A	3:26:95
6 位	丸内中学校 A	3:28:48

◎男子ダブルスカル

【千田瑠斗、藤本龍太】

順位	クルー名	1,000m
1 位	楡原中学校	3:38:20
2 位	瀬田北中学校 A	3:42:41
3 位	瀬田中学校 A	3:44:15
4 位	美浜中学校 A	3:44:85
5 位	城崎中学校	3:45:43
6 位	入野中学校 B	3:58:01

◎女子ダブルスカル

【今村彩華、金森有咲】

順位	クルー名	1,000m
1 位	琵琶湖漕艇 BRC	3:53:60
2 位	入野中学校 A	3:56:13
3 位	和歌山ローイングクラブ	3:58:09
4 位	愛知東郷ボートクラブ A	3:59:87
5 位	美浜中学校 A	4:01:21
6 位	瀬田中学校 A	4:07:80



いざ災害！その時どうする？

北西郷公民館 ふでやま講座「親子防災キャンプ」

■ お問い合わせ先
町北西郷公民館(担当・高木)
☎32-0317



↑ 段ボール間仕切りの設営体験



↑ 竹筒を使用した炊飯体験



↑ 風呂敷を使った防災頭巾の作り方の説明

8 月3日から4日に、北西郷公民館でふでやま講座「親子防災キャンプ」を開催しました。

同講座は、昨年行った防災講座の第2弾として開催し、避難所生活を疑似体験することと、さまざまな知識や体験を得て、地域の防災力を高めることを目的としたものです。

講師は、町の防災士や(株)サング、町エネルギー政策課危機管理対策室の職員が務め、座学や体験学習を行いました。

1日目には、2つのコースに分かれ、講師の説明を受けながら段ボール間仕切りや仮設トイレ・テントの設営を体験しました。

2日目には、講師による座学が行われ、実践的な避難方法や、避難所生活で健康に過ごすための豆知識等を体験しながら学習をしました。

参加者約20人は、講座を通して、いざという時の災害に備え知識を深めました。

わたしの夢、語ります

大塩 ひかり さん 美浜中央小学校 6年 (佐野)

英語の奥深さ

私の将来の夢は、英語の先生になることです。理由は、外国語の授業で英語を話したり、覚えていくことが楽しくて、この楽しさをみんなにも教えてあげたいと思ったからです。

家ではよく、中学校の英語の本を読んでいて、初めて知る英文や単語がたくさん載っているので、読んでいて楽しいです。これから英語の検定にも挑戦してみたいし、外国に行って外国の人とも、たくさんコミュニケーションをとってみたいです。

今はまだ、知らないこともたくさんありますが、これからどんどん英語を身に付けていき、将来、英語の奥深さを伝えられるように頑張りたいです。



CONTENTS 目次 広報みはま2024年9月号

- わたしの夢、語ります／表紙の写真／目次
- まちのニュース
第44回全日本中学選手権競漕大会 優勝報告会 他
- 台湾新北市石門区 ホームステイ
- 地域 " あいあい " ほっとミーティング 開催
- まちウォッチング
町建築業組合一日奉仕作業 / ちびっ子夏祭り / 3校合同「美浜の課題調査」 他
- まちウォッチング 特別編 -夏フェスタ美浜2024-
- 美浜発電所の状況について
- 情報BOX
第2子保育料が無償となります / 緊急情報の伝達試験を実施します 他
- 令和6年度下半期スポーツ教室 募集
- すこやか放送局
- ふるさと昔よもやま話148／文芸欄
- ハートフル広場
はじめてバースデー／町人さん／慶弔／人口の動き／広報クイズ
- くらしのカレンダー

- 表紙の写真 -



7月20日に総合運動公園で行われた夏フェスタ2024です。

当日は、さまざまなステージイベントやアトラクションが行われ、多くの屋台やキッチンカーが並び、大いに賑わっていました。

また、シャボン玉ショーが行われ、色鮮やかなシャボン玉に子どもたちは、大喜びでした。

(関連第12頁)

生徒たちは、今回のホームステイを通して何を学び、何を感じたのでしょうか。

現地での様子と感想を紹介します。

が生徒たちの感想



桃園国際空港

「今回のホームステイで初めて海外に行きました。台風の影響で出発が遅れ、到着した空港でも長時間待つことになり、少し疲れました。海外だとこのようなトラブルもあるのかなと、ある意味いい経験になりました」

出発当日、台風の影響により飛行機の出発が遅れ、関西国際空港に、長時間滞在することとなりました。台湾桃園国際空港に到着したのも26日の早朝となったため、予定を変更し、ホテルで休養することとなりました。

7月25日(木)



↑パートナーと初顔合わせ

「パートナーと一緒に夜市に出かけました。日本にはないものがたくさんあって、文化の違いを感じることができました」

「初めてパートナーと会ったときは緊張しましたが、翻訳アプリやジェスチャーを使って楽しく会話することができました」

夕方に石門実験中学校から各ホームステイ先へ移動し、初めてパートナーやその家族と顔を合わせました。

7月26日(金)



パートナーと一緒に夕食



ホームステイ先の家族

「初めて円卓のテーブルで料理を食べましたが、みんなで少しずつ取って回しながら食べたのが、すごく楽しかったです」

この日は、忠烈祠兵隊による交代を鑑賞した後、みんなが中華レストランに行つて小籠包等の昼食をとり、台北101を訪れました。

7月27日(土)



台湾で最も高い建物台北101



中華レストランにてみんなで食事



台湾当局管轄の英霊を祀る祭祀場「忠烈祠」での兵隊交代を見学

6年ぶりに再開

台湾新北市石門区ホームステイ



石門洞で記念撮影

7月25日から31日までの7日間、美浜中学校の生徒8人と教員・町職員の引率者6人による「美浜町ジュニア対外交流団」が、本町と姉妹都市提携を結ぶ台湾新北市石門区を訪問しました。

この訪問は、町の将来を担う美浜中学校の生徒が異国の文化や生活等について見聞を広め、石門実験中学生との交流を通して社会性・協調性を養い、心豊かでたくましい人材の育成を目的に行われています。

平成2年度以降、1年おきに実施をしていたジュニア対外交流団の相互訪問が、新型コロナウイルスの感染拡大により平成29年度に実施後、見送られていました。今回、コロナ禍を乗り越え6年ぶりに美浜町と石門区とのホームステイ事業が再開されました。

新北市石門区ってどんなところ？

新北市石門区は、台湾の首都・台北から北へ25kmに位置する台湾最北端の街です。平成22年12月に行政区が再編され、「石門郷」から「新北市石門区」に名称が変更されました。面積は51.26km(美浜町の約3分の1)、人口は約1万2千人です。烏龍茶やシイタケ、タケノコ、蘭の産地として有名で、12kmにも及ぶ海岸線は景観がすばらしく、絶好の観光地になっています。

本町とは、互いに原子力発電所が立地していることをきっかけに、昭和63年8月に姉妹都市となり、以来交流を深めています。





美浜中学校 1 年
佐竹 宗太朗 さん

僕は、台湾の中学生と仲良くなりました
かったことと、海外に行って、いろ
ろな経験をしてみたかったので、今回
のホームステイ事業に参加しました。

台湾に到着して、初めてホームステ
イ先の家族に会ったときは、緊張で何
も話せず、日本に帰りたいと少し思っ
てしまいましたが、僕に対して、家族
のように接してくれたおかげで、楽し
むことができました。

7 日間のホームステイでさまざま
な場所に行ったり、たくさんの経験
をすることができましたが、僕の中
で一番楽しい思い出となったのは、
送別の夕食会です。

ホームステイ初日、緊張していた
みんなが、楽しそうに一緒に歌った
り踊ったりしていて、この7 日間の
中で、一番笑った日だと思います。

ホームステイ先の家族と別れると
きには、もっと一緒にいたかったな
と思いました。LINE 等を通じて、ずっ
とこの関係を続けていきたいですし、
1 月に美浜に来たときには、美浜を
たくさん知ってもらい、たくさん楽し
んでもらいたいです。



石門区役所陳区長(右)
に記念品を贈る加藤
教育長(左)
石門区役所陳区長(左)
から記念品を受け取る
高木美浜中学校校長(右)



最後の夕食会で一緒に歌とダンスを
楽しむ美浜中学生と石門実験中学生



最後にパートナーとその家族と一緒に
記念撮影する生徒たち



パートナーとの別れを惜しむ
生徒たち

今回の訪問で、生徒たち
は異なる言語や文化の違
い、現地の人たちの温かさ
等に触れ、初めての経験に
戸惑いながらも多くのこと
を体験しました。
来年1 月には、さらなる
友好を築くために、石門実
験中学校の生徒が本町を訪
れる予定です。

7 月30 日(火)
「おうち
驚歌陶芸DIY で、絵付け
を体験した後、陶磁器博物
館を見学しました。
夕食会ではパートナーも出
席し、みんなで台湾最後の夜
を楽しみました。」

「陶磁器博物館では、陶磁器の
作り方や陶磁器を作るための
道具が展示されていて、深く
知ることができました」
「送別の夕食会では、ペアの子
だけでなく、みんなで楽しく
料理を食べて、一緒に歌った
り踊ったりして、楽しいひと
ときでした」



石門区のマスコットキャラクター
「粽寶」と一緒に記念撮影

7 月31 日(水)
石門区役所でのお別れ会
では、別れを惜しみ握手し
たり、抱き合う生徒たちの姿が
見られました。その後、台湾
桃園国際空港へ行き、生徒た
ちはパートナーに見送られ日
本への帰路につきました。

「お別れのお茶会があり、
ホームステイ中の思い出を記
録したビデオを見ました。こ
の1 週間楽しいことばかり
だったので、少し寂しい気持
ちにもなりました」
「1 週間の終わりが来た時は本
当に寂しく、日本に帰りたく
ない気分でした」



六福村

遊園地や動物園、プー
ルが一体となったテーマパ
ーク「六福村」でウォータース
ライダーやアトラクション
等を楽しみました。
また、3 日目を迎えた
ホームステイは、この夜が
最後となりました。



「遊園地のアトラクションは
とても怖かったですが、日本
には無い乗り物があつて楽し
かったです」
「パートナーや他のみんなと一
緒にウォータースライダーで
滑ったり、流れるプールで遊
びました。言葉が通じないと
きもありましたが、関係なく
楽しめましたし、より絆を深
めることができました」



獅子舞体験

石門実験中学校へ登校し、
歓迎会が行われ、台湾の伝統
である「獅子舞」や「中国ごま
」「ちまき作り」等の体験学習を
行いました。
その後、石門区内の観光地
を散策し、楽しい時間を過ご
しました。



中国ごま体験

「獅子舞や中国ごまの体験は、
想像したよりも難しく、台湾の
生徒たちは、私たちに披露する
ためにたくさん練習してくれ
たのだなと思いました。こんな
に素晴らしい歓迎をしてくれた
ことにとても感謝しました」
「ホームステイで最終日となっ
てしまい、とても名残惜し
かったですが、ホームステイ
の家族はみんな笑顔でいてく
れたので嬉しかったです」



ウェディング広場



みんなで仲良くジャンプ



石門実験中学校 2 年
ヤン ジュンアン さん

ホームステイ初日、少しの緊張と
期待を持って、ペアの佐竹さんが待
つ学校に行きました。佐竹さんは会っ
たとき、僕に礼儀正しく挨拶してく
れて、とても親切な人だなと感じま
した。そのときから、僕たちの驚き
と感動を感じる体験が始まりました。

家に着いてからはお互いに、翻訳ア
プリを使って笑顔でコミュニケーション
をとりました。家族と一緒に夜ご飯を
食べに出かけ、お互いの国の文化の話
をしました。話しているうちに、数時間
前に会ったときの緊張感はなくなり、と
ても仲良くなることができました。

佐竹さんが来る前に、家族と一緒に
淡水老街や夜市に行く計画を立て
ました。夜市を歩いているときに、臭
豆腐屋の前を通り過ぎると、佐竹さ
んが鼻をつまんでいる様子が面白く
て印象に残っています。

送別の夕食会では、楽しく踊ったり、
歌ったりする佐竹さんを見ました。その
様子を見て、もっと佐竹さんのことを知
ることができました。別れることが寂
しくて、僕たちは我慢できず涙を流し、
抱き合いました。また1 月に日本で会
うことを楽しみにしています。

